

令和6年度 包括的な支援体制の構築・整備に向けたモデル事業 実績報告書

神奈川県社協ホームページに掲載しますので、以下に事業の概要を分かりやすく、簡潔に記入してください。

社協名	箱根町 社会福祉協議会
対象となる実践・テーマ ※いずれか1つに○をつける	(1)行政および地域の関係機関・団体、担い手との協働による包括的支援体制構築の促進
	(2)個別支援と地域支援の一体的推進、および「相談支援」「参加支援」「地域づくり」を意識した具体的実践の促進
	○ (3)その他、包括的支援体制の構築に関わる取り組み
事業名	ラリグラスの会
事業の概要〔事業の目的・取組みの概要・成果や参加者の様子・今後の展望等〕 ※活動の様子が分かる画像を2枚程度挿入して下さい。 ※各市町村社協ホームページ等にて本事業の掲載等を行う場合は、URL を記載して下さい。 【事業の目的】 町内に在住する多国籍の方々が、会を拠点として地域とのつながりをつくっていくことで、町内で安心して長く生活を続けていけるようなきっかけや場づくり。 【取組の概要】 会の活動として、①会をネットワークの拠点とし、②会のラインなど SNS の活用し情報共有や発信などを行い③AED などの救急法講習や日本語教室、交流会など、日々の生活に必要な企画を実施し、学びや集まりの機会を作ることでゆるやかなつながりを作ることを目標としている。 【参加者の様子など】 令和6年6月26日に実施した「救急法講習会」の様子。 資格取得に向けて、座学と実技を行いました。少人数で実施したことで質疑応答なども活発に行われました。	
	

【参加者の様子など】

令和6年7月24日に実施した「ラリグラスの会交流会（宮城野）」の様子。

参加者同士が今後も継続してつながれるように地域のお祭りやイベント、子育てについての話題を中心に交流会を実施しました。



【今後の展望】

ラリグラスの会がネットワークの一つの拠点として、町内に居住する外国籍住民が何かあった際に安心して相談できる場所であり、心配なことや楽しいことなど身近に話ができる人と知り合い、ゆるやかにつながりが続くような場となり続けるとよいと考える。交流会や講習会などを通じて互いを理解し、安心して生活できる町づくりの一環として参加者と一緒に考え、会の活動が進んでいくと良いと考える。

また交流会や講習会などに参加が難しい方でも、会の公式ラインを通じ、情報の取得や相談ができる環境を継続していきたいと考える。